

モバイルブリッジ(緊急仮設橋)



Japan Construction Method and Machinery Research Institute

モバイルブリッジとは

被災者の救出、被災によって寸断された道路等ライフラインの仮復旧橋として、折り畳み構造による急速架設が可能な緊急仮設橋



モバイルブリッジの架設イメージ

特徴

小型車両対応のモバイルブリッジの特徴

- 油圧展開装置を有しており、ボタン操作で架設できる。
- 現地設置後、約1時間で架設できる。
- 小型車両3台までの耐荷安全性を有している（設計は1台分）。
- アルミニウム合金を主体としているため軽量である。



運搬



設置



架設

モバイルブリッジの運搬と架設



渡橋実験 (人)



渡橋実験 (車)



架設完了

モバイルブリッジ（緊急仮設橋） 技術説明

仕様 (小型車両対応)	項目	諸元	備考	項目	諸元	備考
	タイプ	MB4	Rev.2	作業員	2人	
	設計荷重	10kN, 10kN	骨組, 床版	所要時間 架設時間	10分 1時間程度	展開,収納 架橋作業
	安全率	3.0	設計	動力	油圧システム	電源必要
	橋長	3(収納時) to 20.8m(伸長時)		高さ	4m	収納状態
	スパン	17.3m		重量	約130kN	
	幅	内幅2055mm,外幅2978mm		製作	5社共同開発品	
実河川実験 (小型車3台)						
その他 ラインナップ	歩行者用 MB30 の諸元					
						
	項目	諸元	備考	項目	諸元	備考
	タイプ	MB30		作業員	6人	
	設計荷重	150kg/m ²	床版面積あたり	架設時間	6時間程度	展開,収納 架橋作業
	安全率	2.0以上	設計	架設方法	レッカー車(25トン以上)による一括架設	
	橋長	5.5(収納時) to 33m(伸長時)		高さ	約2.5m	伸長時
スパン	27.5m		重量	約6.5ton		
床版幅	800mm		製作	5社共同開発(経産省補助金)		